

【トピックス】

- ◎常時空き家コンサルタント養成講座（オンライン開催）
- 令和5年度不動産終活支援機構認定資格試験（岩手県等）
- 7月1日首都圏定借機構 定借アドバイザー講座（東京）
- 7月14日 徳島定借機構 会議（徳島市）
- 7月4日 定借戸建推進協会 セミナー（東京）
- 7月25日 不動産終活支援機構 研修会（仙台市）
- 7月20日関西定借デザイン研究会会議・懇親会（大阪市）
- 9月2日 不動産終活支援機構 セミナー（仙台市）
- 9月27日九州定借機構理事会・研修会・懇親会（福岡市）
- 10月11日全国定借協会 定借シンポジウム（東京）
- 11月21日沖縄定借機構定借アドバイザー講座（那覇市）
- 12月頃 福井定借事業研究会研修会・懇親会（小浜市）
- 12月頃 徳島定借機構 研修会（徳島市）
- 12月14日 九州定借機構 理事会・研修会（福岡市）
- R6年2月9日九州定借機構 理事会・研修会・
第7回定借コンサルタント資格試験（福岡市）

●不動産ID官民連携協議会開催

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年5月23日

不動産・建設経済局不動産市場整備課

第1回 不動産ID官民連携協議会を開催します！

～「建築・都市のDX」の情報連携のキーとなる不動産IDの協議会を初開催～

不動産IDは、土地や建物を一意に特定するための共通コード（※1）であり、昨年、国土交通省において付番のルール等を定めるガイドラインを策定しました。「建築・都市のDX」（※2）を推進するためのキーである不動産IDを通じて、我が国不動産のチカラを拓き、幅広い分野の成長や課題解決を実現するべく、このたび「不動産ID官民連携協議会」を設置し、5月30日（火）に協議会を初開催します。

（※1）不動産登記簿の不動産番号をベースに17桁の番号を使用するID。データ連携のキーや物件を一意に特定する情報として活用されることが想定されている。

（※2）建築物の3次元データのBIMの普及及び都市全体の空間情報の3次元データであるPLATEAUの整備を一体的に進める「建築・都市のDX」の情報連携のキーとして不動産IDが活用されることが期待。

1. 概要

- 日時
令和5年5月30日（火） 15:00～18:00
- 場所
東京国際フォーラム ホールD7（オンライン併用）
- 当日の流れ（詳細については「別紙1」参照）
 - 官民連携協議会の設立、「建築・都市のDX」を巡る動向
 - 令和5年度取組と今後への期待
 - パネルディスカッション ～「建築・都市のDX」が拓く不動産の可能性（仮題）～

2. 協議会の構成

- 協議会会員 約250者（業界団体・地方自治体・民間企業等）

3. その他

- 本協議会は、5月16日（火）〆切で募集を行いました協議会会員のみ参加可能となります。
- 報道関係者（傍聴・カメラ撮り）につきましては、「官民連携協議会の設立、「建築・都市のDX」を巡る動向」までの参加が可能です。なお、「令和5年度取組と今後への期待」からは非公開といたします。
- 報道関係者で参加希望の方は、事前登録が必要ですので、〈所属・氏名(ふりがな)・メールアドレス・電話番号・カメラ撮り希望有無〉を明記の上、5月26日（金）10:00までに、以下の宛先までメールにてご提出ください。御案内は、5月26日（金）中に、ご登録いただいたメール宛に御連絡いたします。
 - 宛先：不動産ID官民連携協議会事務局（E-mail：hqt-fudousanid@gxb.mlit.go.jp）

お問合せ先

不動産・建設経済局不動産市場整備課 片田、栗橋
TEL：03-5253-8111（内線30423）直通：03-5253-8382

第1回 不動産ID 官民連携協議会 議事次第

日時：令和5年5月30日（火）15:00～18:00

場所：東京国際フォーラム ホールD7（オンライン併用）

1. 開会
・有識者紹介 ・主催府省挨拶（国土交通省・内閣府）
2. 官民連携協議会の設立、「建築・都市のDX」を巡る動向
(1) 「官民ロードマップ」と不動産IDの取組状況（国土交通省不動産・建設経済局） (2) 建築BIMの取組状況（国土交通省住宅局） (3) 3D都市モデルPLATEAUの取組状況（国土交通省都市局） (4) 不動産関係のベース・レジストリ整備の方向性（デジタル庁）
～ここまで報道陣公開。以下は後日、資料をHP掲載～
3. 令和5年度の取組と今後への期待（民間事業者・自治体等よりプレゼンテーション）
(1) 都市開発・まちづくりのスピードアップ ○「建築・都市のDX」のプロトタイプ事業 ○不動産取引の活性化（物件調査の容易化、ポータルサイト等） ○住宅履歴情報の蓄積・活用
(2) 地域政策の高度化 ○空き家政策への活用 ○防災・減災政策への活用 ○行政手続きへの活用 ○観光地経営・商店街活性化への活用
(3) 新サービス・新産業の創出 ○物流・宅配分野 ○保険・金融分野 ○防犯・防災分野 ○生活分野等
4. パネルディスカッション ～「建築・都市のDX」が拓く不動産の可能性（仮題）～
・田村幸太郎：牛島総合法律事務所弁護士（不動産IDルール検討会座長） ・赤井厚雄：（株）ナウキャスト取締役会長（不動産IDルール検討会委員） ・瀬戸寿一：駒澤大学文学部地理学科地域文化研究専攻准教授（まちづくりDX実現会議委員） ・松村秀一：早稲田大学理工学術院総合研究所上級研究員（建築BIM推進会議委員長）
5. 閉会

● 都用地活用（定借）による地域の福祉インフラ整備事業

※ 特別養護老人ホーム等整備・運営事業者決定

◎ 貸付期間 50 年（定期借地権設定契約）

◎ 敷地面積約 3,309 平方メートル（契約締結時に確定）

借受者の法人及び提案内容の概要

(1) 法人の概要

法人名	社会福祉法人不二健育会
理事長	竹川 節男
所在地	東京都板橋区舟渡三丁目4番8号
設立年月	平成8年2月
主な運営施設 (高齢事業)	特別養護老人ホーム 1施設 認知症高齢者グループホーム 1施設 通所介護事業所 1施設 訪問介護事業所 1施設 居宅介護支援事業所 1施設 等

(2) 提案内容の概要(審査のポイント)

組織運営の適格性	<ul style="list-style-type: none">○ 法令等に基づき、適切な構成の運営組織による事業運営が行われている。○ 都内で、特別養護老人ホーム等の運営実績を有し、施設運営に必要なノウハウと経験を有している。
財政運営の安定性	<ul style="list-style-type: none">○ 施設整備資金のほかに、事業開始当初の運営資金が確保されている。○ 法人の財務状況等は健全である。
事業運営の確実性	<ul style="list-style-type: none">○ 施設整備基準を満たし、必要な職員、協力医療機関等を確保する計画となっており、必要な指定、開設許可を受ける見込みがある。○ 福祉施設や医療施設を運営するグループ内の法人から支援を得ることができる。
事業計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none">○ 医療的ケアを要する人も積極的に受け入れる姿勢が見られる。○ 適切な人事考課制度など職員処遇に関する取組、ICT 機器の積極的な活用及び離職率の低さから、安定した人材の確保が期待される。○ 当該事業を継続的・安定的に運営するために必要な資金計画・収支計画が策定されている。
総評	<ul style="list-style-type: none">○ 事業計画や過去の実績等から、適正・適格な事業者であり、長年にわたって安定した事業運営と質の高いサービス提供が期待できる。

●全国定借協会 会議報告

5月30日、東京丸の内にて、令和5年度の会議を開催しました。

各地の定借機構等関係団体・マスコミ等22名が参集しました。

今回は、全国古民家再生協会から、4名の役員等も参加頂きました。

会議では、各団体の活動報告や今後の予定等の報告がありました。

その他【定借シンポジウム】開催概要等が紹介され、10月11日開催

が内定しました。今後は開催準備委員会(本郷先生等8名)で詳細を

進めていきます。又、ゲスト参加の、全国古民家再生協会井上氏から、

空き家利活用推進へ、全国定借協会との連携への提案があり、連携協

議をスタートすることになりました。今後ますます増加する、空き家・空地

再生事業等を連携して推進できるように協議していきたいと思ひます。

★第1回は、6月19日～Zoom会議開催予定です。





●空き家になる前の空き家対策

所有者とともに、まちを変える方法を、岡山定借事業研究会石田氏が専門誌の学芸出版社から7月頃出版されます。

7月下旬出版!

空き家になる前の 空き家対策

所有者とともにまちを変える方法

ご予約は
こちらから!



著者

氏原岳人

岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 准教授

石田信治

宅地建物取引士、不動産コンサルティングマスター、
不動産カウンセラー

織田恭平

中電技術コンサルタント株式会社都市整備部

これからの空き家対策は、空き家になる前に動き出すことが欠かせない。岡山県を中心にその実践と検証を繰り返してきたプロジェクトチームによる、住宅所有者の行動変容を促すステップやノウハウを事細かに解説。空き家対応の成功・失敗事例や、全国の先進的取り組みもわかる。早め早めの行動が、街の空き家を一ずつ減らしていく。



1章 なぜ、空き家になる前の空き家対策か

- ・先手の空き家対策がまちの命運を分ける
- ・実際にあった、空き家対応の失敗例と成功例
- ・空き家に関する主な専門家や専門業者
- ・用語解説

2章 空き家になる前の空き家対策

- ・空き家を生まないコミュニケーションアプローチ
- ・このアプローチの6つの特長
- ・フェーズ1 チームをつくる
 - 01 メンバーを集める
 - 02 役割を決める
- ・フェーズ2 準備をする
 - 01 対象地域を決める
 - 02 プロセスを整理する
 - 03 実施計画を立てる
 - 04 地域と信頼関係を構築する

- ・フェーズ3 情報を提供する
 - 01 タイミングを見定める
 - 02 伝える形を決める
 - 03 適切な言葉を選ぶ
 - 04 デザインで伝える
- ・フェーズ4 話し合いを促す
 - 01 促す形を決める
 - 02 内容を決める
 - 03 実践する
 - 04 結果をまとめる

- ・フェーズ5 専門家に引き継ぐ
 - 01 サポートする形を決める
 - 02 体制を整える
 - 03 内容を決める
 - 04 実践する
 - 05 次につなげる

- ・フェーズ6 評価・改善する
 - 01 結果を分析する
 - 02 地域にフィードバックする
 - 03 改善点を探る
 - 04 効果を高める

3章 全国の先進事例

- 事例1 所有者に向けた意識啓発の手立てづくり
- 事例2 将来の住宅活用に向け、所有者が事前に取り組む仕組みづくり
- 事例3 所有者の思いを具現化する、手軽なきっかけづくり
- 事例4 住居にまつわる高齢者の心配事を一貫してサポートする、体制づくり
- 事例5 空き家対策の担い手を育成する、意識啓発の場づくり

先手の対策 初のノウハウ集!

四六判・160頁・2000円+税
978-4-7615-2863-8



学芸出版社

先着20名様！東京開催決定！2023年7月4日(火)

今から出来る！今から分かる！

住宅・工務店業界生き残りノウハウを知る！

定借利用の戸建事業勉強会



定借用地の提案方法～概算～事業の流れまでを把握！

何だか分かりづらい、本当に役に立つ？
不動産業界で再注目の定期借地・借家の実務知識を
業界NO1のプロが1日で教える勉強会です。
これからの不動産、住宅業界を生き抜くための手段として、
この機会に定期借地・借家権を学びませんか？

<開催日> 2023年7月4日(火)

<場所> ビジョンセンター東京京橋 8階会議室
〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-1相互館110タワー

<時間> 講座：13時～16時(途中休憩あり)
質疑応答/個別相談：16時～17時

<内容> ◆講師◆ 速水英雄氏(全国定期借地借家協会専務理事)
全国各地での定借事業、空家空地等の定借活用等を推進しています。
講演やコンサル支援等も行っており、マスコミにも度々取り上げられている
定借伝道師です。



◆配布資料◆ テキスト/定借営業に役立つ！実務問答集

◆講義内容◆

1不動産市場の現状	5定借とは	9定借の活用方法(新築)
2不動産の手法あれこれ	6定借の基本(法律内容)	10定借の活用方法(既存)
3なぜ今定借か	7定借の基本(契約の流れ)	11よくあるQAと営業対策
4現状事例から読み解く	8定借の基本(契約上の注意)	

<定員> 20名(先着順) ※定員になり次第申込を締切らせていただきます。

<費用> ¥25,000税込み(テキスト・問答集代込み)

◆お申込み方法◆ 下記いずれかの方法でお申込みください。

- ①PeaTixサイトもしくはQRコードよりオンラインでお申込み・オンライン決済
<https://peatix.com/event/3587451/view> ※オンライン決済の締切は7月2日(日)17時です。
 - ②メールにてお申込み(氏名・社名・役職・ご連絡先)頂き、裏面記載口座にお振込み
 - ③裏面お申込書でFAXにてご送付頂き、記載の口座にお振込み
- ※当日18時より近隣で懇親会を予定しております。ご参加の方は別途¥10,000が必要です。
予めお申込みください。



主催：定借戸建推進協会(全国定期借地借家協会加盟団体)

●全国賃貸管理ビジネス協会の総会で、三好社長が
会長就任されました。

